

「食」と宗教の役割

が足元を見ると「無縁社会」という言葉がクローズアップされ、人間関係の希薄化が指摘される。食をめぐる問題でも、世界では飢餓で亡くなる子供が多い。日本では「食育基本法」が2005年に制定されたにもかかわらず、相変わらず添加物いっばいの食品が幅を利かせている。今年こそ「いのち」がキーワードになることを願いたい。

環境問題

切迫する地球環境問題、今のまま地球温暖化が進めば、あと50年この星の文明は崩壊するかもしれない。実のところ、我々人類はたいへん深刻な事態に差し掛かっています。しかし、この厳しい現実について「マスコミはほとんど報道していません。過去50年間の地球温暖化の原因はまず間違いなく、私たちが日々大量放出している温暖化ガスにあります。つまり

温暖化を回避するため 新たな環境コンセプトの構築を



山本 良一
東京大学名誉教授 国際クリ
ン購入ネットワーク会長

の気温が初めて37.8度を突破し、10万人以上の市民が脱出。中国では6月以降、中部と南部で豪雨が続き、11000人以上が死亡。パキスタンでも記録的大洪水。36時間でも

食育—三つの顔

食育には三つの顔がある。一つは、地域を舞台とした、すでに、感動的な出会いの場としての食育である。ほかが代表として、国際有機農業映画祭今年、多くの人が共感し、感動した一本の映像があった。「田んぼは僕らの教室だ」と題されたこの映像は、山形放送が制作・放映したもので、山形では大評判になった。この映像を広く見てもらいたいと映画祭運営委員会が山形放送にお願いし、上映の運びとなったのだ。

田畑にいくことが多く、子どもたちや地域の人たちが「田んぼの先生」と呼ばれている伊澤長治先生は、この実践の意味を「子どもの生きる力を育てる」「いのちの教育を進める」「自然や社会を見つめる目を育てる」「地域を学び、地域に愛着を育てる」「子どもの生活・創造力を育てる」の五つに集約している(伊澤ほか著「いのちを育み、心を耕せ」家の光刊)。食育がみんななんだろうという、諸手を挙げて賛同する嫌いな女の子は「大きな

子どもの生きる力育てる いま問われている学校、親の選択



大野 和興
農業ジャーナリスト

この映像は、本場の食育とはどう違うのかを考えると、とてもたくさん握りやパンが詰まっています。それは子どもたちの表情や変わり方、そして子どもたちと共に田んぼや畑に入る先生や、地域の農家の人たちの立ち居振る舞いの見事さによく表現されている。

れ、大きくなれ、おまかせと反抗する。やがて見事なネギが育つ。それを給食のおぼろぎのころにみんなが持っているとき、「お願ひします」と言って頭を下げる。出来上がった自作ネギ入り給食を女の子は平らげる。



茨城県つくば市の農業者大学学校園祭—子どもとふれあう子どもたち

て検討していかないと。これは気候の非常事態への対策としてのものです。私は、具体的に次の三つの選択肢があると考えます。まず最優先すべきは、非常に大きな国内運動、国際運動を展開して社会制度を変えていくこと。省エネ住宅、省エネ家電、リサイクル材料などの環境技術の普及と、低炭

私が宗教界に期待したいものの第一は、私たちが開発し発展させてきた環境理念、環境概念、手法—これらの環境コンセプトの内容を豊かにし、強化するために、宗教関係者や宗教者の皆さまに、もっとその方面の研究をしていただき、新たな環境コンセプトをつくり出してほしいという事です。また、すでに提起され、使用されている環境コンセプトを積極的に活用してほしいです。皆さまがエコイニシアチブ、リーダーシップをとり、「今世界はいかに状況にある」ということを、政治家や学者、経済界のリーダーたちに、声明書を送るなどして訴えていただきたいのです。良心の最後の砦である宗教界の皆さまに、是非このことをお願いします。(談)

2011 謹んで新年のご挨拶を申し上げます 平成23年 (順不同)

人にしんせつ 地球に感謝
宗教法人
真生会
会長 田中 庸仁
総本山真生寺 岐阜市彦坂 一七八
電話 〇五八二三五七三〇四

宗教法人
宗教真光
SUKYO MAHIKARI
〒506-0055 岐阜県高山市上岡本町 2-596-1
TEL 0577(34)7008

宗教法人
救世真教
会長 新井 光興
顧問 新井 三知夫
群馬県高崎市箕郷町中野二九二
電話 〇二七三三七一一三三三九
FAX 〇二七三三七一一七三二

宗教法人
法公会
会長 榊 原 法公
本部 〒472-0023 愛知県知立市西町池田二十四
電話 〇五六六八(一)三三三九

宗教法人
修養団捧誠会
総裁 出居 茂
会長 木島 一郎
東京都豊島区池袋本町三丁目二一
電話 三九七(一)四九三(代表)

円心教
教主 深田 充啓
理事長 赤銅 重夫
兵庫県丹波市山崎町村森一
電話 〇七九七〇四三〇(代表)

宗教法人
加納太霊教院
院長 加納 理孝
〒074-1273 北海道深川市音江町音江七五七
電話 〇二六四二二五二七八六
FAX 〇二六四二二五二七八六

宗教法人
天光教總本部
大阪府天王寺区堂ヶ芝二丁目三番三〇号
電話 表大阪 〇六六七(一)三三八番

HOUSE IKYOU
時代を越えて伝わる霊感伝承
宝生教
(宝生山八津御嶽神社)
代表役員 山本 行徳 山本 恭敬
東京都中野区本町 2-7-6
03-3372-4251

宗教法人
日月神一条
菅長 嘉納 良樹
吹田市内本町一丁目九の四
電話 〇六三三八(一)四一九番

宗教法人
天恩教
教主 鉢呂 神龍
理事長 鉢呂 金太郎
〒619-1301 京都府相楽郡笠置町
大字有市小字西狭間一丁目
電話 〇七四二九五二七八六

宗教法人
天願山晃妙寺
住職 松本 晃芳
役員 一同
大阪府枚方市堀野野町四ノ四
電話 〇七二八五七四五番

宗教法人
天心教本庁
教主 天元
羽曳野市古市一六六一八
電話 〇七九一五六〇八五番

宗教法人
良辨教本部教会
教長 森 妙蓮
八尾市泉町一丁目一三七の三
電話 〇七二九九六四九一六番

宗教法人
神ながら教
教主 水野 富久子
役員 一同
名古屋市中区徳川一丁目15番18号
電話 〇九三三〇一三三八

宗教法人
七曜会
理事長 眞塩 陽一郎
電話 〇三四六六(一)六〇二六

宗教法人
みろく神教
石坂 隆明
松江市堂形町八〇三番地
電話 〇八五二(一)217681

宗教法人
天願山晃妙寺
住職 松本 晃芳
役員 一同
大阪府枚方市堀野野町四ノ四
電話 〇七二八五七四五番

新 宗 連 教 団 人 セ ミ ナー

少子多老 宗教者の役割は 人の心を救い育てる機会を

新日本宗教団体連合会(新宗連)岡野聖法理事(長)の第21回教団人セミナー「現代日本の宗教状況と教団人の働き」が11月30日午後1時半から、東京・代々木の新宗連会館で開催された。



具体的なデータから、川北氏が少子多老社会を分析

「世代や地域を越えて、子どもたちが交流できる機会をどう作るか、誰もが安心して暮らすこと、これからの社会(定年後)の重要なテーマである」と述べ、宗教者として対応が求められていると訴えた。

公益財団法人 移行など検討 特別委

新宗連60周年特別委員会(宮本けいし委員長)は11月30日午前10時から、東京・代々木の新宗連会館で第9回委員会を開催した。

財務委

新宗連財務委員会は、12月7日午後7時から、東京・代々木新宗連会館において第26期第1回財務委員会を開催した。

釜ヶ崎「支縁」で講演

「WCRP日本委員会」の川浪剛代表は、釜ヶ崎の貧困と差別をテーマにした講演を行った。

生命倫理学会ポ 大会でシン 宗教の「いのち観」テーマに

「教団附置研究所」生命倫理学会は、11月20日、愛知豊明市の藤田保健衛生大学で第22回大会を開催した。

葬儀のあり方問う 大阪

大阪府仏教会(増田貞一会長)は、11月20日午後3時から、大阪市内のホテルで開かれ、葬儀のあり方を問うシンポジウムを開催した。

日 宗 連

新日本宗教団体連合会(新宗連)は、11月20日午後7時から、東京・代々木の新宗連会館で第21回教団人セミナーを開催した。

自殺防止を訴える 宗教者は門戸開くべき

新宗連中部総務部(原法公会長)は11月20日午後1時30分から、愛知県名古屋市のP.L.名古屋中央教会で第31回中部セミナーを開催した。

原法公会長は「自殺防止活動は、宗教者が門戸を開くべき」と訴えた。宗教者は、社会の隅々まで行き届くよう努力を怠らぬと述べた。

体験を元に茂幸雄氏が講演

自殺防止活動に取り組む者として、茂幸雄氏が自身の体験を元に講演を行った。

支縁のまちサンガ大阪発

大阪府の支縁のまちサンガが、大阪府内各地で活動を開始した。

誰もが働けるまちに

大阪府希望館が、誰もが働けるまちづくりを推進している。

路上生活者の支援を

路上生活者支援連絡会が、路上生活者の支援活動を行っている。

鹿児島県副知事に贈呈 奄美大島に救援金



新宗連は、10月下旬に集中豪雨に襲われた鹿児島奄美大島の被災者救援のため、「新宗連国際救援基金」から日本赤十字社・鹿児島県支部・鹿児島市長・伊藤伸一郎氏宛に、鹿児島県副知事に救援金100万円を贈呈した。

カルト防止は大学の義務

脱カルト協会が、大学のカルト防止を義務づけるべきだと訴えている。

支縁のまちサンガ大阪発

大阪府の支縁のまちサンガが、大阪府内各地で活動を開始した。

誰もが働けるまちに

大阪府希望館が、誰もが働けるまちづくりを推進している。

路上生活者の支援を

路上生活者支援連絡会が、路上生活者の支援活動を行っている。

葬儀のあり方問う 大阪

大阪府仏教会(増田貞一会長)は、11月20日午後3時から、大阪市内のホテルで開かれ、葬儀のあり方を問うシンポジウムを開催した。

日 宗 連

新日本宗教団体連合会(新宗連)は、11月20日午後7時から、東京・代々木の新宗連会館で第21回教団人セミナーを開催した。

哲学・倫理・宗教教育を シンポ 専門家が現状を報告

日本の初等・中等教育「力」を育む二つの志向があるとして、日本の口における哲学・倫理・宗教教育の現状を報告した。

自殺防止を訴える

新宗連中部総務部(原法公会長)は11月20日午後1時30分から、愛知県名古屋市のP.L.名古屋中央教会で第31回中部セミナーを開催した。

支縁のまちサンガ大阪発

大阪府の支縁のまちサンガが、大阪府内各地で活動を開始した。

誰もが働けるまちに

大阪府希望館が、誰もが働けるまちづくりを推進している。

路上生活者の支援を

路上生活者支援連絡会が、路上生活者の支援活動を行っている。

葬儀のあり方問う 大阪

大阪府仏教会(増田貞一会長)は、11月20日午後3時から、大阪市内のホテルで開かれ、葬儀のあり方を問うシンポジウムを開催した。

日 宗 連

新日本宗教団体連合会(新宗連)は、11月20日午後7時から、東京・代々木の新宗連会館で第21回教団人セミナーを開催した。

教育現場から問題提起

教育現場から問題提起を行うシンポジウムが、11月20日午後7時から、東京・代々木の新宗連会館で開催された。

自殺防止を訴える

新宗連中部総務部(原法公会長)は11月20日午後1時30分から、愛知県名古屋市のP.L.名古屋中央教会で第31回中部セミナーを開催した。

支縁のまちサンガ大阪発

大阪府の支縁のまちサンガが、大阪府内各地で活動を開始した。

誰もが働けるまちに

大阪府希望館が、誰もが働けるまちづくりを推進している。

路上生活者の支援を

路上生活者支援連絡会が、路上生活者の支援活動を行っている。

葬儀のあり方問う 大阪

大阪府仏教会(増田貞一会長)は、11月20日午後3時から、大阪市内のホテルで開かれ、葬儀のあり方を問うシンポジウムを開催した。

日 宗 連

新日本宗教団体連合会(新宗連)は、11月20日午後7時から、東京・代々木の新宗連会館で第21回教団人セミナーを開催した。

